



ナシ特報

No. 10

平成 28 年 8 月 12 日
J A 中野市営農センター
J A 中野市ナシ部会

連日の高温によりハダニ類・シンクイムシ類の発生密度上昇中です。無袋栽培等でシンクイムシ類の被害が目立つ場合は、今回の散布を前倒す等の対策を講じてください。また、今後の曇天・降雨によりで黒斑病等の二次感染が心配されます。散布量はできるだけ多めに設定し、徒長枝や園の外周等によく飛散するようにしてください。

◆ 和梨の定期防除（収穫前や収穫中の作物への飛散に十分注意してください。）

【有袋・無袋】 8 月中下旬の薬剤散布（前回より 15 日後）

散布時期	8 月 20 日～25 日 ＊注意事項①	◆ 散布日：8 月 日
散布薬剤	水 1 0 0 ㍓ 展着剤 2 0 ml キノンドーフロアブル 1 0 0 ml（3 日前、9 回） ＊注意事項②、③ ⑧ イカズチWDG 6 6 g（前日、3 回） ＊注意事項④	◆ 散布量 リットル
対象病虫害	黒斑病、輪紋病、シンクイムシ類、カメムシ類、ハダニ類	
散布量	10 アール当り：450 ㍓以上散布	
注意事項	① 早生種の幸水等に散布する場合は収穫 3 日前には散布完了する。 ② ハダニ類の発生が目立つ場合は、スターマイトフロアブル 2,000 倍（前日、1 回）を加用する。 ③ キノンドーフロアブルを使用する際は、容器の口を下に向けて横に回しながら上下に振り、容器内でよく溶かしてから SS 等のタンクへ投入すること。 ④ 無袋栽培で、果面の汚れが心配される場合は、キノンドーフロアブルに代えて、ナリアWDG 2000 倍（前日、3 回）でもよい。 ⑤ <u>イカズチWDGは劇物登録薬剤です。購入の際は印鑑をお持ちください。</u> ⑥ 薬液が樹の隅々まで到達するように、散布量は多めに設定する。また、過繁茂状態の場合は、薬剤散布前に徒長枝処理を行う。	

（参考）有袋・無袋 9 月上中旬の薬剤散布予定 9/5～10 頃（前回より 15 日後）

～ 和梨 8 月中下旬・9 月の重点栽培管理事項について ～

◆ 無袋栽培の防鳥・防蛾対策

- ✧ 鳥害は収穫 20 日前頃から多発します。特に香りのある幸水・南水は鳥害を受けやすいので注意してください。
- ✧ 防鳥ネットの点検。（破損箇所がないようにしましょう。）

◆ 雑草防除（根元はいつもきれいにするように心掛けましょう！）

- ✧ 除草剤の使用法⇒10a 当り：100～150 ㍓、バスタ液剤 500ml（前日、3 回）

◆ 日焼け果の除去は早めに！

無袋の上向き果を中心に日焼け果が多発中です。早期日焼け果は、収穫時に果面が浅黒く、果肉が硬い果実（石梨）になります。石梨は食味が悪いため、正品及び袋詰め規格にも入りませんので、早めに除去してください。

◆ 過度な夏季管理には注意！

高温・強日照が続いています。当面は必要以上に徒長枝切りを実施せず、日陰を多めに作り、園内の温度を下げてください。園地内温度が急激に上昇すると、土壌中の水分蒸散量が多くなり、日焼け果や果肉軟化を助長します。園地を極端に明るくし過ぎないように注意してください。

◆ 南水の玉肥大を促進しよう！

摘果が遅れた園では日肥大不良が目立ちます。南水の収穫まで残り 1 ヲ月です。成熟前の肥大促進のため定期的な灌水を施しましょう。1 回 10～15 mm 程度を目安としてください。